

やいはは

議会だよ

215

2021.1.15

岩手県
矢巾町議会

北高田こども園
鏡開き会
(関連記事…P24)

議会で決めたこと

スクールバス冬期間の運行 2

委員会活動

町民のみなさんからアンケートをいただきました ... 6

一般質問13議員 町政を問う

スクールバス安全確保から運行拡大を 9

冬期間の運行

10月26日に開催された10月会議では補正予算のほか1議案を可決しました。また、11月27日開催の11月会議では、議員報酬や特別職の給与に関する条例の一部改正など6議案が議決されました。

10月会議

補正予算

主な内容

スクールバス運行事業に係るマイクロバスレンタル料や人件費、燃料費などの増額で、不足の財源は財政調整基金から繰り入れています。

主な歳入

▽財政調整基金繰入金

105万円

主な歳出

▼会計年度任用職員給料

108万円

▼児童生徒各種大会

参加費補助金

△200万円

▼教育振興総務事業

使用料及び賃借料

229万円

主な質疑

質問 今回の補正予算は、11月16日からスクールバスの運行が始まり、冬休み・春休みを除く期間の運行分だが、令和3年度も、レンタルで実施する予定なのか。

回答 来年度の予算については、どのような運行形態にするかも含め、今回11月からの運行実態を見極めながら、令和3年度予算を検討したい。

財産取得

マイクロバス2台を

購入

新型コロナウイルス感染症予防の観点から、座席の間隔をあけて、密状態を避けるためマイクロバス2台を購入します。

乗車定員は29人乗りで、納入期限は令和3年2月26日。



スクールバスとして供用するレンタカー

質問

仮に、コロナ禍が収束した後に、定員どおり利用すると2台多くなるが、検討はなされたのか。

回答 現状において不足している状況である。また、新しい生活様式は簡単には変えられない状況と考え、交付金を活用し購入することにした。

11月会議

条例

特別職の職員の

給与に関する条例

人事院勧告に基づき、条例を一部改正します。

町長等の特別職について期末手当を引き下げます。

一般職の職員の

給与に関する条例

人事院勧告により特別職と同様に、一般職職員、会計年度任用職員および任期付職員の期末手当を引き下げます。

スクールバス

発議案

議員報酬及び

費用弁償に関する条例

人事院勧告により、特別職、一般職と同様に議員の期末手当を引き下げます。

補正予算

主な内容

特別職、一般職、議員の期末手当が改正されたことにより、歳入・歳出ともに減額します。

主な歳入

▽財政調整基金繰入金

△381万円

主な歳出

▽特別職・一般職員給与費

△356万円

▽議員報酬費

△25万円

人事院勧告とは

人事院は、国家公務員の給与が民間従業員と同じ水準になるように調査を行い、国会と内閣に勧告し給与等が改定される仕組みです。

矢巾町の議員報酬や特別職、一般職の給料などは、人事院勧告を参考にして決定しています。



みなさんからの請願

▽「安心・安全で、ゆきとどいた教育実現につながる少人数学級」の実現を求める請願

請願者

少人数学級を実現する

紹介議員

代表 岩手の会
田代 高章
山崎 道夫

小川 文字

反対12・賛成5
不採択
審査意見

教育民生常任委員会に付託された請願について、次の報告がなされた。

「コロナ対策は少人数学級

反対討論

教室での感染が頻発していない。学級規模と感染との因果関係が明確ではない。緊急に、教員の増員や教室を増やすことは、不可能である。また、膨大な費用がかかる。以上の考えから反対する。

小笠原 佳子

賛成討論

① 子どもたちの現状から、手厚い教育、柔軟な教育の必要性がある。
② 現状は学級が密になっている。新型コロナウイルス感染症対策上、矛盾している。
10万人の教員を増員し、少人数学級などの条件整備と学習指導要綱の弾力化が必要。
以上のことから賛成する。

川村 よし子

「報告から一部抜粋」
「対応するのではなく、現状の事案の中で対策を講ずるべき。不確定なコロナ対策のために20人の少人数学級の請願に採択することは出来ない」と結論付け、不採択とした。」

給付型奨学金を創設

学びを応援

12月1日から10日までの10日間で開催された12月会議では、税条例の一部改正などを含む6条例、指定管理者の指定4件、工事請負契約1件を審議し、議決しました。

また、補正予算は一般会計、3特別会計、水道事業会計が提案され、審議は予算決算常任委員会に付託し可決されました。一般会計の総額は約144億7972万円となりました。

12月会議

条例

奨学金貸付基金条例の一部改正

従来の貸付型の奨学金に加え、経済的に困窮している子の学びの継続を図るため、返還の必要がない給付型奨学金を新しく創設します。
また制度の対象者は、生活保護及びこれに準ずる場合とされています。



新設された「ニコニコ保育園矢巾」(南矢幅)

質問 大学院も給付型の対象になるのか。

回答 大学院も対象にしている。経済的理由で進学を諦めないための制度。金額は従来の貸付型と同様の1カ月4万円。

補正予算

主な内容は次のとおりです

主な歳入

▽医療的ケア児等非常用発電機整備事業補助金
200万円

▽一般寄附金(ふるさと納税)
7500万円

主な歳出

▼ふるさと納税運営
業務委託料
1100万円

▼障害児通所給付費
1404万円

▼地域型保育給付費
910万円

主な質疑

質問 医療的ケア児の非常用発電機整備事業の内容は。

回答 災害発生時に、在宅の医療的ケア児等で予備電源を持っていない方に、町で購入し貸し付けを行う事業である。

質問 地域型保育給付費が増額の理由は。また、昨年9月ごろには待機児童がいたが、今年の状況はどうか。

回答 新しく小規模保育所が2カ所増えるための増額。直近の待機児童はゼロであり、定数に対し30名程度の余裕がある。

指定管理者の指定

徳田児童館・煙山児童館・不動児童館

社会福祉法人

矢巾町社会福祉協議会

矢巾東児童館

特定非営利活動法人

矢巾ゆりかご

矢巾斎苑

株式会社JAシンセラ

矢巾町活動交流センター

矢幅駅前開発株式会社

矢巾町活動交流センター以外の施設は、引き続き令和3年度から3年間の管理。

また、町活動交流センターも、引き続き令和7年度末までの5年間で管理。

主な質疑

質問 児童館は学校との連携が大切だが、そのあり方は。

回答 学校とは定期的に連絡会議をしている。コロナ関係で学校休業の問題など、児童館との連携がますます必要と感じている。

各議案の採決状況

令和2年定例会 10月会議

議案番号	提出議案	議員名														採決結果			
		藤原信悦	吉田喜博	小笠原佳子	谷上知子	村松信一	廣田清美	高橋安子	水本淳一	赤丸秀雄	昆秀一	藤原梅昭	長谷川和男	川村よし子	小川文子		山崎道夫	廣田光男	高橋七郎
第80号	財産の取得（マイクロバス）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第81号	令和2年度一般会計補正予算（第7号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可

令和2年定例会 11月会議

第82号	特別職の職員の給与及び旅費等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第83号	一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	可
第84号	令和2年度一般会計補正予算（第8号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第85号	令和2年度水道事業会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第86号	令和2年度下水道事業会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
発議案第6号	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可

令和2年定例会 12月会議

第87号	地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第88号	税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第89号	財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第90号	町税外歳入等徴収条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第91号	水道事業給水条例等の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第92号	奨学金貸付基金条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第93号	町立徳田児童館、町立煙山児童館及び町立不動児童館に係る指定管理者の指定等	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第94号	町立矢巾東児童館に係る指定管理者の指定等	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第95号	矢巾斎苑に係る指定管理者の指定等	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第96号	活動交流センターに係る指定管理者の指定等	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第97号	令和2年度一般会計補正予算（第9号）	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第98号	令和2年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第99号	令和2年度介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第100号	令和2年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第101号	令和2年度水道事業会計補正予算（第3号）	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第102号	南昌グリーンハイツ改修工事請負契約の締結	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可

○=原案に賛成 ●=原案に反対 可=可決 否=否決

注：藤原由巳議長は採決に加わらない。

町民と町議会との懇談会が中止に

広報広聴常任委員会では、令和2年11月14日(土)に開催することでお知らせしておりましたが、開催日の前日夜に県内で新型コロナウイルス感染症の急増により、感染拡大防止の観点から当日に急ぎよ中止とさせていただきます。懇談会場に足を運んでくださった方に心よりお詫び申し上げます。

お越しいただいた方からアンケートを記入していただきました。

内容の一部をご紹介します。ご協力大変ありがとうございました。

Q1



60代

今回は中止となったが、今後も町民と議会のコンセンサスが図れる方法をお願いします。



70代以上

コロナが落ち着いたら、企画してほしいです。

A

開催の方向で進めていましたが、コロナ禍の拡大で開催が厳しい状況です。感染対策を行いながら、開催できるように検討してまいります。

Q2



60代

西バイパス（国道4号盛岡南道路）は、どこを通るのですか？

A

国土交通省において、概略ルートの検討を行っており、現在、県・盛岡市とともに協議を行っている段階です。

※内容を要約して掲載しています。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。



70代以上

Q3

大きく変化にとんだマレットゴルフ場を建設する検討はできないか？

A

岩崎川に河川防災ステーション（河川公園）が整備されて、令和3年度には上流側の「祝咲喜公園」にマレットゴルフ場が開場する予定です。



70代以上

Q4

城内山周辺の観光プロジェクトを組織する構想があると聞くが？

A

議会に対しての説明では、城内山を含む西部地区の観光に、関係者でプロジェクトチームを作り、令和3年から調査を行う予定で進めています。



70代以上

Q5

町施設に防犯カメラが必要と思うが？

A

町施設の必要な場所には設置されています。
なお、自治公民館への設置は町で2分の1助成の制度があります。

その他のご意見

- 懇談会で要望したいことがあった。
- 早口は聞き取れませんので、よろしくお願いします。
- 20人程度の少人数学級の実現について、県・国に意見書をあげてください。
- 紫波町と矢巾町が合併し、市とする事を望むが。
- 次回の開催を期待しております。

議会や町政に関するご意見・ご質問・ご要望などは、メール、ファックス、電話、郵送などで町議会までお寄せください。

回答を希望する方は、必ず連絡先をお知らせください。

令和3年2月15日までに届いたご質問については、後日回答いたします。

受付窓口	矢巾町議会事務局
住 所	〒028-3692 矢巾町大字南矢幅13-123
電 話	019-611-2801
F A X	019-611-2809
メ ー ル	gikai@town.yahaba.iwate.jp

常任委員会

活動報告

12月23日全員協議会で常任委員会から、現在の取り組みについて報告がありましたので、内容の一部をご紹介します。

「矢巾町議会における防災対応指針」を策定

総務常任委員会

▼策定までの経過

令和2年8月

担当課から矢巾町防災対策の説明を受ける。

9月～11月

委員会で協議・検討する。

12月23日

全員協議会で「矢巾町議会における防災対応指針」の説明を行う。

▼防災対応指針の主な内容

1 災害対応指針の目的

大規模災害時などの非常時においても、議事・議決、住民代表機関として議会が、迅

速な意思決定と、多様な町民

ニーズの反映に資するという

議会の機能維持を図るため、

必要となる組織体制や議員の

行動基準などを定める。

2 災害時の議会、議員の役割等

(1) 議会の役割

災害時においても、機能を停止することなく議会の役割を維持すること。

(2) 議員の役割

議会機能を維持するといふ根幹的な役割を認識すること。なお、行動基準は別に定める。

3 災害時の町との関係

議会は、町災害対策本部設置後、速やかに矢巾町議会災害対策会議を設置する。

4 想定する災害



報告する高橋総務常任委員長

矢巾町地域防災計画における対策本部が設置する災害基準を準用し、地震、風水害、

感染症、大規模な火災・爆発・

雪害・噴火等を想定。

5 災害発生時の対応

初期期と初期期経過後に分けて対応。

6 発生時期に応じた議員行動

災害が本会議・委員会中に発生した場合と、時間外（夜間、土日祝日等）に発生した場合に分けて定めた。

なお、本防災対応指針は令和3年1月1日から施行されましたが、随時見直しを行い、

より良いものにしていきます

観光ビジョン実現と町営住宅整備に向けて 産業建設常任委員会

令和2年12月15日担当課から進捗状況の説明を受ける。

◎観光ビジョンの進捗状況

▼観光資源の発掘と魅力向上

●徳丹城については、本年度から5カ年計画で整備。

●民俗資料館に隣接する土地は、駐車場の他、徳丹城のガイダンス施設を計画。

●西部地区の城内山は、来年度にプロジェクトチームを組んで整備・開発を推進。

●盛岡市や紫波町、近隣観光施設と連携した観光推進。

●マイクローリズムを推進。城内山や水辺の里などの、自然を生かした森林浴やクアオルトも。

▼特産品の振興

●矢巾ブランドとして認証の活用を推進。

●観光資源と繋がる振興

▼今後のスケジュール

●ビジョンは前期・後期に分

け10年間を目標とし3月に完成。

◎町営住宅の整備進捗状況

矢巾住宅・高田住宅の2団地は、老朽化で集約化を図る。

余剰地の活用方法も検討。

検討委員会は、行政、建築会社、不動産、金融等の各部門から8団体で構成。

今年度は、PFI手法の導入可能性調査が国土交通省の予算の中で採択され調査を行っている。

▼今後のスケジュール

●《令和2年度》集約化に向け集約方法や余剰地の活用方法を抽出。整備計画案を提示。

●1月に余剰地の本格的検討。

●3月に検討成果のまとめを。《令和3年度》整備事業の入札に向けて準備。

●民間活力導入可能性調査で抽出の課題と解決策を検討。実施方針を12月後半に公表。

●《令和4年度》4月に入札公告等の業務を開始。11月以降仮契約。PFI事業選定委員会が審査し、町へ答申。

※PFI…公共施設の建設、維持管理等を民間の資金・技術能力を活用して行う手法。町が直接実施するよりも効率的・効果的な事業ができる。

ズバリ 町政を問う

一般質問

一般質問は、議員が執行機関に対して、町政全般にわたる執行状況や将来に対する方針など、諸問題について質問を行い、町の姿勢を明らかにするものです。

12月会議では13人の議員による一般質問が行われ、活発な議論が展開されました。

●赤丸 秀雄 議員 …………… P10

- ①スクールバス導入による運行
- ②ふるさと納税の活用取り組み強化
- ③予約型乗合バスの更なる利便性を望む運行

●長谷川 和男 議員 …………… P11

- ①消防・救急体制の充実
- ②スーパーシティ構想の検討状況とその財源
- ③全天候型多目的施設、多目的室内練習施設・スポーツ健康科学センターの検討
- ④教育施設整備
- ⑤移住、定住の人口拡大
- ⑥健やかな生活を守るまちづくり

●昆 秀一 議員 …………… P12

- ①医療的ケア児等への支援にどう取り組むのか
- ②自然環境の保全活動をどうしていくのか
- ③子どもたちのいじめ、自殺、不登校、虐待をなくするために
- ④エッセンシャルワーカーへの支援

●村松 信一 議員 …………… P13

- ①本町におけるスーパーシティ構想の考え
- ②コロナ禍における第7次総合計画後期基本計画の取組み状況

●小笠原佳子 議員 …………… P14

- ①コロナ禍の心の健康
- ②岩手県対がん協会移転に伴う通学路の安全対策
- ③子宮頸がんワクチン予防接種の郵送による個別通知
- ④紙おむつのリサイクル

●廣田 清実 議員 …………… P15

- ①人口3万人構想の対策
- ②西部地区観光開発の取り組み
- ③地方創生事業が終わる事での今後の対応
- ④防犯対策

※次ページからの一般質問は、紙面の都合上、内容を要約しています。
詳しくは、議会事務局まで ☎ 019-611-2801

●藤原 信悦 議員 …………… P16

- ①史跡徳丹城の復元整備並びに史跡公園としての今後のあり方
- ②終息の見えない新型コロナウイルス禍での町の商工業支援対策
- ③総合計画策定の意義と評価

●谷上 知子 議員 …………… P17

- ①子育て世代・若い世代が魅力を感じる観光活動と町づくり
- ②女性の社会進出
- ③高齢者世帯への相談体制

●山崎 道夫 議員 …………… P18

- ①今後の財政見通しと令和3年度の予算編成方針
- ②畜産農家が新型コロナウイルスに感染した場合の支援策と対応
- ③旧矢巾中学校跡地の利活用に向けた取り組み
- ④学校施設修繕整備の実施計画など

●川村 よし子 議員 …………… P19

- ①コロナ感染予防対策関連
- ②高齢者の介護保険
- ③町営住宅の改修

●吉田 喜博 議員 …………… P20

- ①市街化調整区域の活性化
- ②西部地区活性化
- ③町有財産の遊休地の活用

●藤原 梅昭 議員 …………… P21

- ①災害・感染症に対する防災体制の強化・充実への取組み状況
- ②交通安全・道路整備状況

●小川 文子 議員 …………… P22

- ①新型コロナウイルス対策
- ②住宅リフォーム助成制度
- ③種苗法の改正
- ④スーパーシティ構想

スクールバス 安全確保から運行拡大を 調査実施し運行エリアを検討



あかまる ひでお
赤丸 秀雄 議員
(一心会)



冬期間運行のスクールバス

一般質問 町政を問う

質問 スクールバスの運行形態や利用者数、また、運転手の人数は。

教育長 バスの台数は4台、3小学校合計で121名。朝は6便、帰りは下校時刻に応じて複数便を運行。8人の運転手が交代で対応している。

質問 歩道や防犯灯整備が十分な通学路が多く、通学の安全確保から運行拡大の考えはないか。

教育長 試験運行を踏まえ、今後の運行エリアを検討する。

ふるさと納税 基金創設を

創設、活用を考える

質問 ふるさと納税は使途が町民に明確に分かるようにするべきであり、基金とし翌年度に活用すべきでは。

町長 財政が厳しく、全体の事業に活用しなければならなかった。提案を踏まえ基金での活用を検討したい。

応援者を 増やす工夫は

心に残る

返礼品も考える

質問 上位7位までは大都市圏の地域の皆さんである。音楽祭、餅まき、夏祭り等に墓

参りを合わせた招待プラン等を設けるような心に残る返礼品も良いのでは。

町長 良いアイデアであり、心に残る返礼品を考えたい。

予約型乗合バス 利用者増を

こまめなPRも

質問 高齢者から予約型乗合バスの利用方法や利便性が悪いとよく聞く。
交通弱者の立場で運行すべきと思うが、その考えは。

町長 利用対象者にこまめな説明を行い、改善すべき点に配慮した運行に努める。

他市町村の 事例も参考に 内容を検討し改善

質問 利用者本位の運行に改善すべきと思うがその考えは。

町長 必要性は認めるが、運行制約など内容を検討する必要もあり改善に時間を要する。



はせがわかずお
長谷川和男 議員
(矢巾明進会)

矢巾分署の昇格は 広域化促進状況を勘案し検討



出動件数が増加する矢巾分署

質問 盛岡南消防署矢巾分署の消防署昇格の検討状況は。
町長 第7次総合計画基本計画において、矢巾分署のポンプ車を1台増車し、2台を指標として考えている。消防署昇格は広域化促進状況を勘案し検討する。

質問 盛岡市は、新野球場のほか、屋内練習場で大規模災害に活用できる施設について、令和5年度の完成を見込んでいます。
町として広域連携での整合性は図られているか。

質問 各小中学校の新型コロナウイルス感染症防止対策としても、トイレも含め手洗い場の自動水酸化が必要ではないか。
教育長 学校トイレの手洗いの自動水酸化は、感染症防止対策に有効であると考え、整備手法を検討し、児童、生徒の衛生環境の向上に努めていく。

質問 全天候型多目的施設、防災、スポーツ拠点等構想計画の検討状況と具体策は。
町長 第7次後期基本計画の中にもあるが、令和5年度を目標に方針を決定し、県のスポーツ推進の動向を見ながら検討を重ねる。

質問 徳丹城史跡等調査もほぼ完了したことから、徳田小学校移転計画を早期に立ち上げるべきでは。
教育長 学区や町立学校数の見直しも含め、長期計画を策定したい。

質問 ポンプ車1台増車により消防士が増員され、十分な業務体制が図られると考える。
町長 矢巾分署の救急体制の充実を図られているのか。昨年度の1100回余りの救急出動は喫緊の課題であり署員の増員を望む。

質問 学区や学校数の見直しを
徳田小の移転計画は

質問 矢巾分署の救急体制の充実を図られているのか。昨年度の1100回余りの救急出動は喫緊の課題であり署員の増員を望む。

町長 本町の全天候型多目的施設も災害時に避難者を受け入れられるよう、数多くの災害機能を持ち有事の際に対応した万全の備えをしていく。

一般質問 町政を問う

医療的ケア児へのチーム支援を ワンチームで協議の場を設置



こん 昆 秀一 議員
(一心会)



昨年度の秋まつりで開催した省エネフェア（役場駐車場）

質問 医療的ケア児とは、生活の中で医療的ケアを行いながら暮らす子どものことである。その医療的ケア児に対する支援については、チームで行う必要性を感じる。このチーム支援について、町としてどう取り組んでいくのか。

町長 医療的ケア児への支援はライフステージに応じて、多岐にわたる分野でのワンチームの支援が不可欠であると捉えており、関係機関が連携を図る場の設置を推進する。

地球温暖化対策 のアピールは

イベントの機会に
組み合わせる周知

質問 現在、異常気候で世界各地に影響が出てきている。菅首相は所信表明演説の中で、脱炭素社会の実現を目指すと宣言した。町でも、気候非常事態宣言をしている。そこで町民一人一人、地球温暖化対策として節電など脱炭素生活推進の取り組みについてアピールを図っていくべきと思うがどうか。

町長 広報紙やホームページ、やはラヂを利用して広く町民に伝えながら、今後、町のイベントの機会にも周知活動を組み合わせて実施するなど強化していく。

エッセンシャル ワーカー支援は 日頃から感謝する 心を指導

質問 エッセンシャルワーカーは、人々が日常生活を送るために欠かせない仕事を持っている方をいう。エッセンシャルワーカーに対する具体的な支援は。

町長 医療機関、介護保険施設等にマスクなどの衛生資材の提供をしてきている。今後も、継続してエッセンシャルワーカーが安全に業務に従事できるように支援をしていく。

質問 エッセンシャルワーカーの社会的理解のために、教育の中ではどのように教えているのか。

教育長 身近なところで必要不可欠な作業をしていただいている方に対し、常日頃から感謝する心や、敬う気持ちを身につけるよう指導をしている。



むらまつ のぶかつ
村松 信一 議員
(矢巾明進会)

農地付き空き家 5反歩要件の緩和は 今年度末までに方向性を示す

質問 現在、農地付き空き家の取得下限面積引き下げの検討状況は。

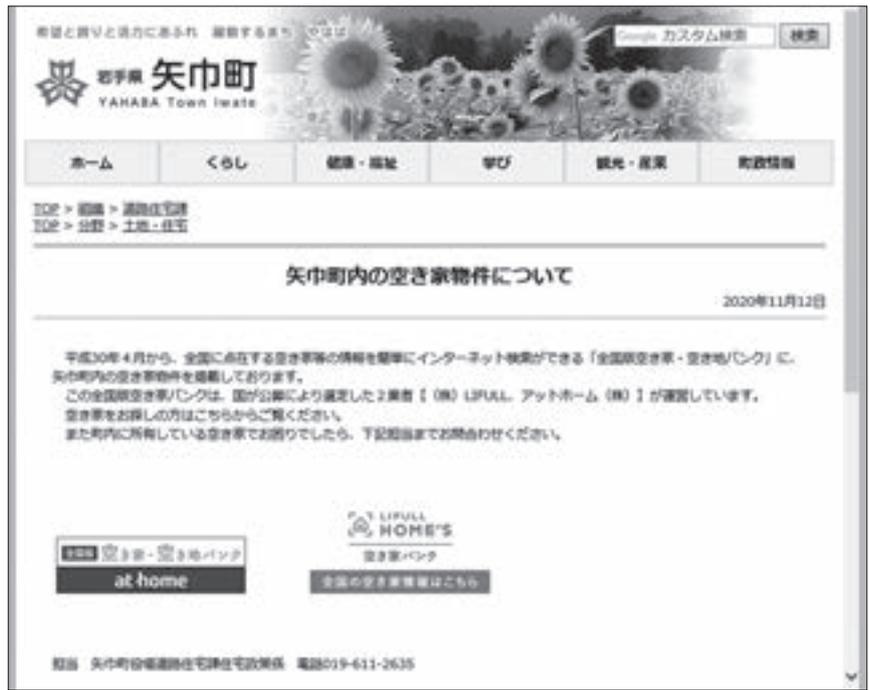
農業委員会会長 岩手県農業会議からの助言を基に、年度末には方向性を示せるよう進める。

質問 具体的に協議検討されている下限面積はいくらか。

農業委員会会長 県内での農地付き空き家は1ヶの設定が多い。参考にしながら引き続き関係機関と検討していく。

質問 農地付き空き家の登録を増やすため、売買に係る一連業務を民間委託する考えは。

町長 農地取得の知識や、経験のある民間業者への委託も手法の一つとして検討する。



インターネットで全国の空き家を検索できる「空き家バンク」
(町ホームページからも検索できる)

南島グリーンハイツ の誘致内容は 運動・観光施設に

質問 施設の概要は。

町長 競技用トランポリンやボルダリング等バランス感覚を養い子どもたちが全身運動できる設備を予定。

スーパーシティ 構想の応募は 万全の準備で

質問 解決したい社会課題をどのように想定しているか。

町長 中心市街地と周辺地域の格差是正、コミュニティの維持、健康意識の向上である。

質問 データ活用と安全性の確保をどう考えているか。

町長 日常の運動や食事のデータを活用し、個人ごとに運動の提案を通知し、健康維持の促進を図る。データは分散管理し安全性を確保する。

経営継続補助金 農業者の申請は 手続きを支援

質問 コロナ感染症拡大防止対策の農業者向け経営継続補助

助金の申請状況は。

町長 一次募集には22件採択され、二次募集には18件の申請がある。

今後は採決後の実績報告や補助金受領等の手続きについて支援基幹の支援を受けながら取り組む。

コロナ禍の心の健康

個々の状況に応じ対応



おがさわらよしこ
小笠原佳子 議員
(公明党)

質問 うつ病は心の風邪と言われるように、誰でもかかる可能性がある。

コロナ禍で特に危惧されるが対策は。また、今年の相談件数の動向はいかがか。

予防にパソコンやスマートフォンから、手軽にメンタルヘルスチェックができる「心の体温計」を開発する考えを伺う。

町長 感染拡大が収束しない中、心への影響が懸念される。今年度の相談件数は、10月末24件で微増。困り事や悩み事を傾聴し、家族等の協力を得ながら、個々の状況に寄り添った相談対応を行っている。「心の体温計」は岩手県の導入自治体の情報を収集し、

次年度以降の導入も含め検討している。

通学路の安全対策は

交通安全意識を高める

質問 ホテルルートイン矢巾前交差点は、対がん協会の移転に伴い、交通量が増えることが予想される。

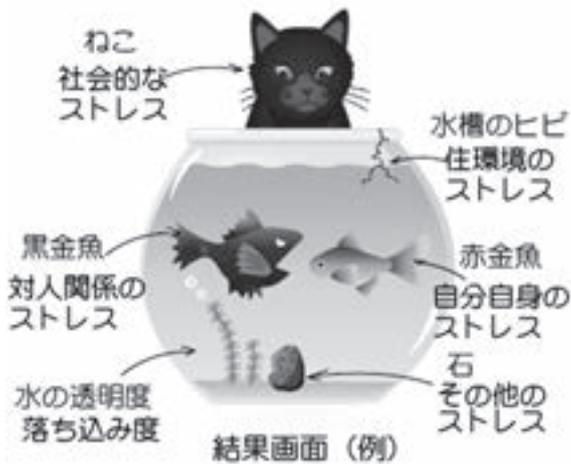
矢巾東小学校児童の通学路の安全対策は。

町長 信号機の設置について岩手県公安委員会への要望を継続して行う。

一般質問 町政を問う

こころの体温計

ご本人の健康状態や人間関係、住環境などの4択式の質問13問に回答していただくと、ストレス度や落ち込み度が、水槽の中で泳ぐ金魚、猫などの絵になって表示されます。



ストレスチェックのできる心の体温計

ドライバーに啓発活動を行い交通安全意識を高める。また、医大と対がん協会の受付時間等を協議し、車の混雑を緩和する。

子宮頸がん 予防接種を周知

ホームページと相談対応で

質問 子宮頸がんワクチン予防接種の周知のために、郵送による個別通知の実施を伺う。

町長 10月の厚生労働省の通知により、町のホームページでも周知を図っている。接種に関する相談対応を行う郵送に関しては検討する。

紙おむつ リサイクルは

検討すべき課題

質問 使用済み紙おむつのリサイクルを推進すべきでは。

町長 今後増加が見込まれ、検討すべき課題と捉えている。



ひろた きよみ
廣田 清実 議員
(町民の会)

城内山の観光開発を 西部地区の観光事業として行う

質問 城内山を観光・健康増進のスポットとして観光開発をしては。

また、開発においては、町民の声を反映するためにプロジェクトチームの創設が必要ではないか。

町長 東からの山道整備を含め、町内外から集客できる観光開発計画を検討していく。プロジェクトチームの創設も検討して、交付金を活用して開発したい。

3万人構想の 対策は

企業を誘致し
雇用の確保

質問 人口3万人構想の対策

として、本町においての課題は住宅地や働く場所の確保が重要と考える。
企業誘致の方針と候補地や住宅地の確保においては、町営住宅の集約化、空き家の活用が必要では。

町長 企業誘致は方針を決め企業要望を調査し行いたい。町営住宅の集約化は、今年度中にPFI事業などを検討し方向性を決める。空き家活用は、来年度から要件を緩和し活用できるようにしたい。



防犯カメラが設置されている南矢幅地下道

質問 矢幅駅に隣接する町の施設「ハバタック」の利用状況と今後の活用予定は。

町長 現在、利用者は日に3人から4人である。

広く、町民の憩いの場になるよう活用していきたい。また、観光情報の発信の場所に活用したい。

防犯カメラの 活用を

民間設置者にも
協力をお願いする

質問 交流人口が増えた事で犯罪も増えている。防犯対策、犯罪抑止にも防犯カメラが有効である。

本町の防犯カメラ設置場所にはカメラ作動中のステッカーがなく、表示することで防犯になると考えるがどうか。
また、民間カメラの設置状況を把握しているのか。

町長 ステッカーを貼り周知したい。また民間設置者の協力を得ながら状況把握に努め犯罪抑止につなげたい。

徳丹城復元と今後のあり方

学び、憩える史跡公園に



ふじわら 藤原 信悦 議員
(町民の会)

質問 徳丹城跡外郭西辺北半区の整備のねらいと内容は。

町長 当時の地形の再現と井戸跡や工房跡、政庁への東西道路を復元。当時の様子を体験できる憩いの場とする。

質問 史跡の内容や価値を理解するために、重要な構造物の一部「復元」や「復元的整備」をする考えはないか。

町長 これまでの調査結果に基づき検証を行う。

質問 徳丹城春まつりや学校行事等があれば、駐車場が不足する。確保する考えは。

町長 史跡指定区域外に隣接する土地を確保する方向で交渉中。



町史跡徳丹城跡整備計画の町民への説明会（歴史民俗資料館前）

コロナ禍での 商工業者支援は

事業継続や

雇用安定を支援

質問 収束の見えないコロナ

禍での、商工業者支援は。

町長 これまでも利子及び保証料の一部助成や家賃補助等、町単独でも実施してきた。

また、地域経済の活性化支援として「や市」も行った。

今後については、情勢を見極め、事業主への聞き取りや

総合計画策定の 意義と評価

矢巾町独自の

総合計画に

質問 これまでの総合計画では網羅的で、問題や課題の発見、その後の対策につなげにくい状況となっている。

また、計画期間が8年と長く、目まぐるしく変わる社会・経済情勢と計画が乖離することにならないか。

平成23年の地方自治法の一部改正により総合計画についての縛りもなくなった。矢巾町として、総合計画のあり方を見直すべきではないか。

町長 今後、総合計画のあり方を検討し、町民のみならずにもわかりやすい、矢巾町独自の計画になるようにしたい。



やがみ ともこ
谷上 知子 議員
(令和やはば)

青少年活動交流センターの設置は 窓口充実と県施設を周知

質問 青少年の芸術や芸能を積極的に促し、相談機能も備えた青少年活動交流センターを設置する考えは。

町長 青少年の積極的な社会参画の促進や相談などとする場所は、青少年の健全な育成に寄与すると考える。

設置する考えはないが、窓口を充実させるとともに、県青少年活動センターの利用周知を図る。

質問 若者の発想や行動力は、思春期から青年期までの支援に対して若者条例制定の考えは。

町長 町ではコミュニティ・スクールのような地域で子どもを育てる風土が根付きつつ



青少年のための施設 岩手県青少年活動交流センター
(アイーナ6階)



ある。条例は考えていないが議論は深める必要がある。

女性の社会 進出について

クオータ制を含め 啓発を行う

質問 各自治会等の役員に女性の進出が望まれている。クオータ制を啓蒙してはどうか。

町長 やはば第2次男女共同参画プランを策定し、分野別課題の進捗状況を確認しており、女性の活躍を推進していくことが効果的であると考える。

ている。クオータ制を含めた女性の社会進出に関する啓発を行う。

高齢者世帯の 相談体制は

効率化・簡素化に 向けて取り組む

質問 行政手続きや届出は、一人暮らし老人には責任が伴う大きな負担である。オンライン化を進め届出や手続きの簡素化はできないか。

町長 オンライン化が国の関係機関で進むと考える。

町の窓口でも記入箇所を減らすなど効率化、簡素化に向けて取り組む。

質問 合葬墓建設に向けての進捗状況は。

町長 改葬や墓じまいに関する問い合わせが増加している。

第8次矢巾町総合計画において、長期的な展望に立ち永代供養合葬墓や、墓地公園整備など今後のあり方を検討し方向性を示せるよう進める。

コロナ禍における財政計画は 歳出計画の見直しが必要



やまざき 山崎 道夫 議員
(一心会)

質問 新型コロナウイルス対策等で、町単独の支援事業が行なわれているが、今日まで実施してきた支援事業と予算額を示さねたい。

町長 11月末時点で乳児特別定額給付金事業や新型コロナウイルスウィルス感染症対策資金利息等補給事業など10事業あり、予算額は約1億5800万円となっている。

質問 長引くコロナ禍により、令和3年度は町の税収が落ち込むことが予想されるが、税収の見直しと財政計画を伺う。

町長 コロナ禍が及ぼす影響は、リーマンショック並み、あるいはそれ以上と考えており、全体的に町税は減少する

ものと見込んでいる。また、減収の期間、規模に応じて事業規模の縮小や延期、事業費の削減など、歳出計画の見直しが必要と考えている。

質問 来年度予算編成方針は。

町長 既存事業の見直しによる経費抑制を基本とし、歳入に見合った歳出規模で最大限の効果を挙げる予算を編成。感染症対策およびウィズコロナ社会において、町民の生活や企業活動を支援する取り組みなどは、緊急性、必要性を検証し確実に実施していく。

いつ示す旧矢中跡地の活用策
最終案は来年中に

質問 平成28年2月に旧矢中中学校敷地利用基本方針検討委員会が設置され、約1年後に基本方針が出された。3年経過した今年3月に、新たな検討委員会が設置されたが、跡地活用について再度検討する狙いと目的は何か。



新型コロナウイルス対策の町単独支援では「赤ちゃん子育て応援給付金」を実施
(写真は地域子育て支援事業「なかよしデー」)

町長 岩手医科大学附属病院開院による状況変化を踏まえ、客観的で、多様かつ広い観点から土地活用の可能性の検討が必要と判断し、再度検討委員会を設置した。

質問 町として活用策を町民

や議会に対して、いつ頃示す考えなのか。

町長 今年度中に答申を取りまとめたい。町としての方向性を定める。次に議会の検討もいただき、具体的活用策を検討し、令和3年中には最終案を示したい。

高齢者施設のPCR検査拡大を 現段階では考えていない



かわむら
川村よし子 議員
(日本共産党)

質問 感染症対策としてPCR検査は大切だが、町は検査件数を把握しているのか。

また、高齢者施設入所者や職員への検査が必要ではないか。

町長 検査結果は感染症法により保健所が把握している。

高齢者施設での検査は、感染者が多くないので、現段階では考えていない。

質問 住民からの相談体制はどのようになっているのか。

町長 社会福祉協議会などの相談支援機関と連携し、利用できる制度の情報提供や就労支援など、相談者に寄り添いながら適宜対応している。

質問 コロナ禍での納税相談窓口の内容や件数はどう変化

しているか。

町長 コロナ禍前からの不安定な就労状況や、家族の健康問題などの要因が根底にあることから、コロナ禍が直接の原因となった相談が増加している状況ではない。

質問 新たな給付制度や、上下水道利用料の減免などの考



相談に対応する社会福祉協議会窓口（役場2階）

えはないか。

町長 新たな給付制度の予定はない。上下水道料金について、相談があった場合適切に対応する。

来年の介護 保険料は

増加する

検討委員会で検討

質問 第8期介護保険料はどう考えているか。

町長 今後の人口動態や介護サービス利用見込みから、保険料値上げは避けられない。

質問 改定のために値上げするが、高齢者にとって負担ではないか。

町長 検討委員会を設け事業内容を検討している。今後、説明会やパブリックコメント等での意見を踏まえ策定する。

町営住宅の 修繕を

計画的に対応する

質問 町営住宅屋根の塗装について、早期改修が必要ではないか。

町長 老朽化した屋根は、随時塗装を含めた修繕を行っている。

専門家からの助言もいただし、費用対効果を考慮しながら計画的に対応していく。

市街化調整区域の活性化は 所得向上の政策で支援



よしだ のぶひろ
吉田 喜博 議員
(町民の会)

質問 市街化調整区域いわゆる農業地域を活性化するには、農家の所得向上が必要である。例えば、営農を継続しながら太陽光発電を行い、売電や自家消費を行うソーラーシェアリングなど、所得向上を図るための支援策等を調査検討する考えはないか。

町長 農家の所得向上のためには、ソーラーシェアリングは営農型太陽光発電として、農作物の販売収入に加え、発電による継続的な収入や、発電力の自家利用等による営農経営の改善が期待できる取り組み手法である。

支援策について、国の支援メニューや金融機関の融資メニューなど各種あることが



営農にソーラーシェアリングを活用（秋田県仙北市地内）

ら、町単独による事業者向け助成の検討は考えていない。営農型太陽光発電システムフル活用事業や、固定価格買取制度による安定した売電収入、環境・エネルギー対策資金による融資などの周知に努める。

質問 現在進めている国道4

号沿い開発の進捗状況と、開発の南進化の考えはないか。

町長 第一候補地は、地主と企業が用地取得の交渉段階であり、事業推進に向けてフォロアップを行っていく。

南進計画については、現在進めている第一候補地の目途がついた段階で、第二候補地を進める予定。

**町有財産の
遊休地活用は
7物件あり
売却を進める**

質問 現在、開発可能な町有遊休地は何物件あるのか。また、活用について検討が行われていくか。

町長 昨年度から町有財産の遊休地について確認を行い、開発可能な市街化区域内に7物件、約1万3000平方メートルと確認している。これらの物件については、活用の予定はない。

質問 町民の大切な財産であるが、開発行為の進捗状況において売却も選択肢として有効であると考えますが、売却を進めている遊休地はあるか。

町長 7物件のうち、2物件はすでに売却しており、売却面積は約1370平方メートルである。その他の物件についても、活用の予定がないため売却を進める。



ふじわら
藤原 うめあき
梅昭議員
(一心会)

「気候非常事態宣言」の効果は 危機意識と抑制意識が高まる

質問 昨年の12月会議で採択され、本年9月に発した「気候非常事態宣言」の効果は。

町長 町内外から問合せがあり、関心の高さを痛感した。「地球温暖化」に伴う危機意識と抑制意識を高めるものと認識している。

質問 2050年までに、二酸化炭素(CO₂)を実質ゼロにする当町の対応は。

町長 省エネルギー、再生可能エネルギーの普及や環境保全に関し、具体的な取り組みを検討し発信していく。

また、森林環境税等を活用し城内山を始め、森林整備のために不要な木の伐採など行っていく。



森林環境整備に欠かせない間伐作業

防災体制強化 の取組状況は

防災士の養成は
今後も続けたい

質問 昨年、町内で育成した

52名の防災士と自主防災組織が連携した訓練の状況は。また、今後の育成計画は。

町長 新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた避難所開設訓練を実施した。来年度は、各自主防災組織から2名、延べ82名の防災士を養成したい。

質問 常備消防の充実と消防団の活性化及び団員確保は。

町長 矢巾分署のポンプ車を2台にした。また、ドローンや水難救助用ボートを導入し装備を充実させる。

団員数は横ばいで推移しているが、確保に努める。

質問 コロナ禍における災害時避難体制は。

町長 感染症対策の備蓄品を充実させた。また、3密を避けた分散避難が必要となり、避難行動の周知普及を図る。

交通安全対策 整備状況は

横断歩道等を

継続し要望

質問 横断歩道の改善計画は。

町長 12カ所の設置を要望し、2カ所設置する通知を受けた。

質問 小学生が反射材タスキによりケガをしたが、改善は。

町長 タスキにこだわらず、反射材の普及促進を図る。

国家戦略特区は住民自治に問題 人生100年時代を『健幸』に暮らすため



おがわ ふみこ
小川 文子 議員
(日本共産党)

質問 国家戦略特区・スーパースイッチ構想は、個人情報・プライバシーが守れない恐れがあると考えます。

もし、国家戦略特区に指定された場合、住民の意向確認は、関係者で構成する協議会・議会での議決・住民投票などのいずれかで確認すると示されているが、町の考えは。

町長 個人情報の保護が守られないような事であれば応募はしない。スーパースイッチ構想により、社会課題の解決が可能と考え人生100年時代を「健康で幸せ」に暮らせる矢巾町を目指したい。

特区に指定された場合は、町民に対し丁寧な説明をする。



人生100年時代「健康で幸せに暮らせる」を目指す
(昨年度開催した煙山地区敬老会)

質問 以前質問した際に、スーパースイッチに応募する内容に遠隔診療とキャッシュレスは取り組まないかと答弁してきたが、なぜ、取り組むことにしたのか。

町長 新たに住民合意などが内閣府の基本方針に示されたことから変更した。公募の内容がまだ公表されておらず、提案をしているだけであり、実際に応募する際は、町民にしっかり説明していく。

質問 将来、町長判断で特区から離脱することはできるのか。また、国家戦略特区の応募には前もって議会だけでなく町民への説明が大事と考えるがどうか。

町長 応募内容も決まっていなく、まだ入り口の段階で議論をしているところであり、町民目線で進めていくものである。住民説明は今後検討して行く。

種苗法改正 農家の影響は

大きな影響はないと想定

質問 改正案の内容は、種や苗を購入し自家増殖する場合、登録品種は原則禁止、または許諾料を支払うこととなるが、農家への影響はどうか。

町長 農協と情報交換しており、改正による大きな影響はないものと想定している。今後も、国の動向を注視しつつ、農協や関係機関と連携し、必要な情報提供に努める。

「やはりば議会だより」に、目を通すたびに、傍聴したいと思うこと幾星霜。たまたま旧友に誘われて過日議場へ足を運んだ。

所定の手続きを終え、襟を正して議場に入ると、すでに数人の傍聴者が着席していた。議員、職員も殆ど着席、町長、議長が入場して開会が宣言された。

議員の質問に答える町長並びに関係職員の答弁、説明が

活発に展開される。その内容が僕の聴力にもよるが、しゃくが困難の部分もあった。自席を離れ議長席の下の演台で話してくだされば聞き取れたと思った。

議論の内容は、躍進する矢中町の姿をどう含ませるか、町民の福祉の充実・健康・災害・学生に対する奨学金・自然災害に対する取り組み・世界を揺るがしているコロナ感染症予防対策など多岐に渡って

初めての傍聴に思う



さ さ き ま た じ ろ う
佐々木又次郎さん 94歳 (白沢)
(写真撮影のためマスクを外していただきました)

いる。紙面の制約が多くは述べられないが、町営住宅の改修の件で242戸も住宅があることを耳にし、知らなかった僕は恥ずかしかった。冬期間スクールバスの運行する予定とのこと。その運行方法には慎重さを欠くことは禁物である。

議場内の町長の礼儀正しい姿に感銘を覚え、役場の屋上に国旗・町旗を「ポンポン」と翻し、熱心に執務する職員。町政の姿をどうすれば良いかと議論を展開する議場にも、国旗・町旗の掲揚があればと希望を膨らませ議場を辞した。



傍聴席では席を2人分空けて着席するように協力いただいています。

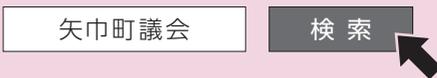
お知らせ

議会ホームページを開設しています

議員の紹介、議会日程、議会定例会の記録や一般質問の録画中継などを掲載しています。

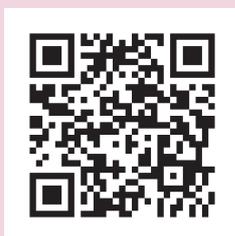
●矢巾町議会のホームページ

<https://www.town.yahaba.iwate.jp>



●QRコード

スマートフォンなどで読み取ると議会ホームページにつながります



●一般質問の録画中継

一般質問の様様をご覧になれます



↓ここをクリック



《ご意見はこちらまで》 E-mail : gikai@town.yahaba.iwate.jp



活躍が期待される おれんじボランティア (筆者 中段右から4番目)



矢巾町おれんじボランティア

会長 **昆** ^{こん} **江利子** ^{えりこ} さん (高田2区)

住み慣れた地域で自分らしい暮らしが続けられるように

認知症サポーターとして学んだ知識を実際生かせる場があれば。そんな意欲を持ちボランティア養成講座でさらに学びを深め平成28年11月、「おれんじボランティア」が発足。はじめは25名のスタートでしたが、現在37名の会員となりました。

認知症支援の取り組みへの参加、協力をするとともに日常生活に支障のある地域住民に対する生活支援をすることで、地域包括ケアシステムの構築、地域福祉の増進を図ることを目的として活動しています。

生活支援へは2人1組で訪問し、買い物、掃除、草取りなど1時間程度の中で会話も楽しみながらの活動をしています。

ご自宅で自立した生活を続けられるよう、ちょこっと手伝いで、今までどおりの暮

らしができるという安心感、体調維持にもつながっていると感じるところです。

全会員「我が道を行く」という思いで寄り添い、依頼者の方々から学ぶことも多く、とても有意義な活動となっています。

令和2年10月、包括支援センターとともに、私たちおれんじボランティアの拠点となる「えんじよいセンター」が開所しました。介護予防教室や体操が行われ、サロンやカフェにおいては会員が手伝いに入り、共に学びの場としてあります。

どなたでも気軽に立ち寄っていただき、コーヒーを飲みながらお話しできるホットな(心あたたまるホットと気持ち)がホットとする)安心の居場所としてご利用いただければと思います。お待ちしております。

〇表紙に寄せて〇

1月8日、北高田こども園で鏡開き会が行われました。お餅を割ったあと、獅子

舞登場! は

しゃぐ子や泣き出す子。頭をかじってもらい無病息災を願いました。



あ と が き

議会だよりの発行は、定例会議終了後の翌月15日でしたが、新型コロナウイルス禍による配布物の日程変更のため、配布が翌々月になりました。タイムリーに読んでいただけなのが心苦しいです。議会がどのような活動をしているのかを分かりやすくお伝えするよう努めます。

編集副委員長 廣田 清実

発行・編集責任者

議長 藤原 由巳

編集委員

委員長 水本 淳一

副委員長 廣田 清実

委員 藤原 信悦

吉田 喜博

小笠原佳子



古紙配合の再生紙と植物油インキを使用しています

過去のやはば議会だよりは右のQRコードからご覧いただけます



いわてやはば議会だより215号
令和3年1月15日発行